

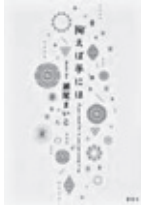
図書館へいこう!

話題の新着本

『掬えば手には』

瀬尾 まいこ / 著

中学3年のときに、人の心を読めるという特殊な能力に気づいた大学生の匠。ところが、バイト先で出会った常盤さんは、匠に心を開いてくれなくて…。究極に優しい物語。



『#真相をお話しします』

結城 真一郎 / 著

家庭教師の仲介営業マンをする大学生、マッチングアプリに勤しむ中年男、精子提供を始めた夫婦…。でも、何かがおかしい。緻密で大胆な構成と容赦ない「どんでん返し」の新感覚ミステリ短篇集。



『星屑』

村山 由佳 / 著

田舎者のミチル、サラブレッドの真由、過酷な芸能界で少女たちをスターダムに押し上げようとする女性マネージャー。必死にもがく少女たちと、大人たちの様々な思惑が織りなす、スター誕生物語を描く。



『墜落』

真山 仁 / 著

DVに耐えかねた妻による夫殺し、自衛隊の戦闘機の墜落事故。一見無関係にみえた2つの事件の背後には…。知られざる沖縄の真実を抉り出す。「売国」「標的」に続く富永検事シリーズ第3弾。



『ブータン、世界で

いちばん幸せな女の子』

阿川 佐和子 / 著

「ブータン」は中学の同級生。忘れられていた彼女は、誰よりも明るい大人になっていて…。出会った人を涙させる同窓会みたいな物語。



『筆のみが知る』

近藤 史恵 / 著

大きな料理屋「しの田」に居候する絵師・火狂は、普通の人には見えないものが見えている。幽霊たちとの出会いが、胸を病んで部屋にこもる「しの田」のひとり娘・真阿を変えていき…。



『道』

白石 一文 / 著

娘の交通事故死。自殺未遂の隘路から抜け出せない妻。あれを試すしかないのか？ 高校時代に目にした絵の前に40年ぶりに立った男は、気付けば娘の交通事故が起こる直前の交差点にいて…。



『わたしたち』

落合 恵子 / 著

希美学園で中・高を共に過ごした「わたしたち」。少女たちは友情を紡ぎながら、それぞれの「わたし」を生き抜いていく…。4人の女たちの1958～2021年を描く。



今月のBEST本 (6月の貸出回数上位本)

『百花』

川村 元気 / 著

認知症と診断され、徐々に息子を忘れていく母と、母との思い出を蘇らせていく息子。ふたりには忘れることのできない“事件”があった。現代に新たな光を投げかける、愛と記憶の物語。9月公開映画の原作。



『くまのプーさん

ささやかだけど大切にすること』

キャサリン・ハプカ / 文

プーさんと仲間たちの心温まる物語が水彩画風の美しいイラストで綴られた大人のための本。何気ない日常の大切さに気づく心温まる物語。

